

スギカミキリ (cryptomeria bark borer)

Semanotus japonicus Lacordaire



スギカミキリ成虫



被害木

発生生態

成虫は12～25mmで、黄褐色の模様があるカミキリムシです。春に成虫が発生し、樹皮の裂け目に産卵します。幼虫は樹皮などを食べて成長し、その後、材に侵入し、その中で蛹となります。

食害により、材の腐朽や変色が起き、食害の範囲によっては、木が枯れてしまうこともあります。

防除対策

被害木の特徴に、樹脂の流出や樹皮の盛り上がりがあります。

被害を見つけたら、早期に伐採し、薬品や破砕等で駆除することが必要です。また、外樹皮を剥いで、産卵場所を除去する方法もあります。